

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)ケースデンキ玉名店	階数	地上1F		
建設地	熊本県玉名市玉名字中無田1491番地外17筆	構造	S造		
用途地域	区域区分非設定、防火地域指定なし	平均居住人員	245 人		
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,015 時間/年		
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2012年6月7日		
敷地面積	14,199 m ²	作成者			
建築面積	4,257 m ²	確認日	2010年7月10日		
延床面積	4,222 m ²	確認者			

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

環境品質 G

環境負荷 L

BEE = 1.1

■ BEE(環境効率) = $\frac{Q(\text{環境品質})}{L(\text{環境負荷})}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

排出率

90%

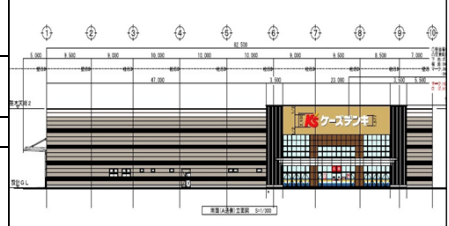
2 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価		評価点												
		78												
<p>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</p> <p>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</p> <p>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</p> <p>【重点事項4】 循環型社会の実現</p>	<p>評価点</p> <p>84.5</p> <p>61.2</p> <p>75.0</p> <p>83.2</p>	<p>■ 熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※評価点は、100点以上が推奨です。</p>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満	
判定値(評価点)	ランク表示													
100点以上														
80点以上100点未満														
60点以上80点未満														
40点以上60点未満														
40点未満														

CASBEE®熊本《新築》【評価結果】

■ 使用評価マニュアル：CASBEE-新築（簡易版）2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ケーズデンキ玉名店	階数	地上1F
建設地	熊本県玉名市玉名字中無田1491番地外17筆	構造	S造
用途地域	区域区分非設定、防火地域指定なし	平均居住人員	245 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,015 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2012年6月7日
敷地面積	14,199 m ²	作成者	
建築面積	4,257 m ²	確認日	2010年7月10日
延床面積	4,222 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★☆ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 **評価点 = 78**

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 **評価点 = 85**

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 **評価点 = 61**

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 **評価点 = 75**

重点事項4: 循環型社会の実現 **評価点 = 83**

重点事項の評価(レーダーチャート)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

新幹線の新駅前に立地する店舗として、低層の建物で広い空地と駐車場を確保し周辺環境の向上に配慮している。高効率の設備機器を採用などにより省エネルギー化を図るとともに、快適な室内環境をもとめた計画としている。

Q1 室内環境

- ・店舗内は調光制御装置とリモコンスイッチにより細かい照明制御を行っている。
- ・内装材は全て規制対象外（F☆☆☆☆）の材料を採用し、十分な換気設備と喫煙室の設置により良好な空気質環境を確保している。

Q2 サービス性能

- ・天井高4.5mの高さ、広いリフレッシュスペースに自動販売機を設置して利用者の快適性を確保している。
- ・内装材、外装材は維持管理に配慮した材料を使用し、掃除用具庫・廃棄物置場を設置して維持管理機能を確保している。

Q3 室外環境（敷地内）

- ・広い敷地に低層の建物とし、十分な空地を確保して、新幹線の駅前広場からの良好な景観形成に寄与している。
- ・敷地周辺は見通しの良いフェンスで囲いITV設備を設置して防犯対策を行っている。

LR1 エネルギー

- ・天井裏に断熱性能の高い部材を取り入れている。
- ・店舗内照明は調光式とし喫煙室・資料室の照明は人感センサー、通路、軒下にはLED照明として負荷の低減を図っている。
- ・空調は高効率マルチエアコンを採用し、制御範囲の個別化を図っている。

LR2 資源・マテリアル

- ・節水型水栓、省水型便器等を取りつけ節水対策を行っている。
- ・高強度の躯体材料を使用し省資源化を図っている。

LR3 敷地外環境

- ・十分な台数の駐輪場・駐車場、出入り口を確保し、周辺道路に渋滞や路上駐車などを発生させない処置をしている。
- ・光害の抑制として、屋外照明器具・屋内照明から外に漏れる光の対策を行っている。

その他

注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)ケーズデンキ五名店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年版

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点への寄与 評価点への寄与	評価点	評価点	重み係数	重み係数	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								3.2
1 音環境		3.0	0.15	-	-	-	-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	-	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	-	-	
1 室温		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
2 負荷変動・遅延制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-	-	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 種別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	-	-	
3 光・視環境		4.0	0.25	-	-	-	-	4.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50	-	-	-	-	
1 昼光率		3.0	-	3.0	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	-	-	-	
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 眩り込み対策		-	-	-	-	-	-	
3.3 照度		3.0	-	3.0	-	-	-	
3.4 照明制御	リモコンスイッチ、調光制御装置あり	5.0	0.50	3.0	-	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-	-	-	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	全てF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	3.0	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		3.5	0.30	-	-	-	-	
1 換気量	必要換気量の1.2倍以上	4.0	0.50	3.0	-	-	-	
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	店舗内は全て禁煙、従業員用は喫煙室あり。	5.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	-	-	3.3
1 機能性		3.4	0.40	-	-	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	天井高: CH=4.5m	5.0	0.33	3.0	-	-	-	
2 リフレッシュスペース	3.1%	4.0	0.33	-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	壁はビニルクロス、床はビニルタイル、外部鉄部は溶融亜鉛メッキ	4.0	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	掃除用具室0.2%、廃棄物置場0.5%	4.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管、排水管、通気管はB、Eは無し	5.0	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備	自家発電設備あり、地下への設置なし	4.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	PHSケーブルあり、地下への設置なし	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31	-	-
1	階高のゆとり	H=7.5m	5.0	0.60	3.0	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.07	5.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		高効率空調機器の採用	3.6	0.30	-	3.6
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	3.0		-	
		集合住宅の評価	3.0		-	
		ERR=12%			-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15	-	3.4
1.1	節水	自動水栓と節水型便器を使用	4.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	3.3
2.1	材料使用量の削減	PC杭を使用	3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用、事務室他の床ビニルタイルt2	4.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	内部仕上はLGS+プラスターボード	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.22	-	3.2
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避		3.3	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.33	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-
3	冷媒		3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		高効率設備の導入	3.4	0.33	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の設置はない	5.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	駐輪場30台、客用駐車場217台、管理・荷捌き用確保、出入り口は2カ所	5.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物、公害対策チェックリストの項目をほぼ満たしている	5.0	0.70	-	-
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-

熊本県重点評価結果スコアシート 実施設計段階

建物名称 **(仮称)ケースデンキ玉名店**

■評価ソフト: CASBEE-Ncb_2010(v1.3)_kmt2011(v1.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		77.7
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)	スコア	重み 係数				
① 温室効果ガス排出量削減の推進				84.5	0.40	33.80
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.08			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.07			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.00			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.6	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				61.2	0.20	12.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				83.2	0.20	16.64
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数)の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数)の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数